

# 希少疾患に向けた創薬

ハイブリッド(オンサイト/zoom)

無料

2026年2月21日(土) 13:00~19:30

会場：日本橋ライフサイエンスビル201 (東京都中央区日本橋本町2-3-11)

形式：ハイブリッド(対面もしくはzoom配信)

参加方法：事前申込制

イベント概要・申し込みはこちら：<https://www.pbss.org/eventDetails/1036>

## タイムテーブル：

No.	Session Topic (予定)	Time
1	Japan PBSSおよびテーマの紹介	13:00 - 13:15
2	希少疾患に向けた創薬の課題や政策面の取り組み	13:15 - 13:40
3	患者発の取り組みにおける機会と課題	13:40 - 14:05
4	バイオテックの希少疾患への創薬機会と課題	14:05 - 14:30
5	Sponsor Presentation	14:30 - 14:45
	Coffee Break	14:45 - 15:00
6	Sponsor Presentation	15:00 - 15:15
7	希少疾患におけるLessons learnedと投資の考え方	15:15 - 15:40
8	製薬企業における希少疾患の研究開発・事業化にむけた考え方	15:40 - 16:05
9	臨床側の希少疾患への開発機会と課題ならびに開発インセンティブの薄い希少疾患への創薬アプローチと課題	16:05 - 16:45
10	パネルディスカッション	16:45 - 17:45
11	Closing	17:45 - 17:50
12	Happy Hour & Networking	17:50 - 19:30

# Japan PBSSのご紹介



## Japan PBSSについて

Japan Pharmaceutical & BioScience Society (Japan PBSS)は、Pharmaceutical & BioScience Society International (PBSS)の日本支部として2025年7月に設立されました。日本の創薬のさらなる発展に寄与することを目的に活動を開始し、10月25日の初回イベントを皮切りに、今後は以下のようなテーマを扱いながら、多様なイベントの開催を予定しています。

- AI in Drug Discovery (ウェビナー・2026年4月4日[土] 8-9時)
- 創薬エコシステムシリーズ (2026年5月開催予定)

Japan PBSSは、創薬に携わる皆様が最先端の知見やトレンドに触れ、分野を越えたつながりを育むことのできる場を提供してまいります。

## Japan PBSSの理念

### Mission

知の流動化を通じて、創薬を推進する

### Vision

日本の創薬を担う人々が世界で輝くために、知の流動を加速し、革新と成長を生み出すプラットフォームとなる

### Value

- Pay it forward  
経験や知恵を、社会や次世代に還元し合う
- Bridge Boundaries  
日本国内の異なるステークホルダーや日本と海外のバイオテックエコシステムをつなぐ架け橋となる

# PBSSのご紹介

## Pharmaceutical & BioScience Society (PBSS) について

PBSSは、2002年に設立されたライフサイエンス分野に特化した非営利団体です。

米国サンフランシスコ・ベイエリアに本部を置き、現在はサンフランシスコ、サンディエゴ、ボストン、シアトル、バンクーバー、韓国、日本の7支部に展開しています。

PBSSでは、医薬品の研究開発に関する最新情報の共有と専門的な研修を目的として、年間30～40件のセミナー、シンポジウム、ワークショップを開催しており、これまでに延べ2万人以上の皆様にご参加いただいています。



サンフランシスコベイエリアのワークショップの様子  
(ADC from discovery to development)

## 今後のPBSS international 開催イベント(オンラインでの参加も可能です)

- 1/11 SF Bay  
RAPS SF 2nd Annual Kick Off Gala - Regulatory Compass 2026: Navigating Change and Charting Global Impact (in collaboration with PBSS) [In-Person only]
- 1/15 SF Bay  
Biodistribution, Target Engagement and PK/PD for Antibody/ADC/Nucleotide/Novel Protein-Based Therapeutics: Quantitative Assessment and Translation
- 2/10 Seattle  
Roadmap to Formulation Development of Monoclonal Antibodies and Related Proteins: From Pre-Clinical to Commercialization
- 2/19 SF Bay Area  
CMC of Protein and Antibody Therapeutics: Fundamentals, Best Practices, and Regulatory Strategies
- 2/26 Boston  
Recent Developments in Clinical Pharmacology: Dose Optimization, PBPK Modeling, TQT Waiver, Pediatric Dose Projection, and AI/ML Case Studies

過去及び今後のイベントに関する詳細は、PBSSウェブサイト(<https://www.pbss.org/>)にてご確認ください。